

「宿泊業における生産性向上」に関する勉強会 全国各地で開催

一般財団法人運輸総合研究所は、宿泊産業や地域関連産業など地域観光産業の生産性向上を目的として、2023年7月に公表した『地域観光産業基盤強化・事業革新に関する提言』に基づき、地域観光産業の見える化について委員会で検討を行い、2025年6月に『宿泊産業の生産性向上についての手引き（以下「手引き」）』をとりまとめ、公表しました（「運輸総研だより」Vol.16 2025秋号P.14～17に掲載）。

全国の宿泊事業者、観光協会・DMO、自治体などの現場で「手引き」を活用して頂くため、観光庁及び各地方運輸局と連携し、2025年10月より各運輸局を会場として、全国10か所を巡回する勉強会を共同開催し、多数の方にご参加頂きました。

勉強会では、委員会の委員として「手引き」作成の中心的役割を担った株式会社リヴァンプの湯浅智之代表取締役社長執行役員CEOを講師に迎え、今回の「手引き」の特徴である顧客価値及び経営者のプライシング能力の向上をはじめとするポイントを説明するとともに、同社が「手引き」の考え方を踏まえて行った観光庁の実証事業での伴走支援による経営改革の実践事例とその効果が紹介され、「手引き」が現場で有用に活用できることが示されました。

質疑応答では、莫大な施設投資に直面する宿泊業の将来展望への質問に対し、投資に見合う収益を確保できる筋肉質の経営への改革を契機に、バランスシート（B/S）を基礎とした投資家への適切な情報開示を行うことにより、投資計画と業態進化の可能性を指摘しました。また、顧客価値創造への質問では、部屋別収入の可視化によるプライシング最適化を進めるとともに、中長期的にはQSC*を重視したブランドコンセプトに基づく施設投資が重要であるとの助言がありました。このほか、DMOの役割に関する質問など、現場の実情を踏まえた有意義な意見交換となりました。

宿泊産業のみならず、地域観光産業に関わる多くの皆様が、この「手引き」を積極的に活用・参考にしていただくことで、それぞれの事業における生産性および付加価値の向上が図られ、地域観光産業の生産性の向上により、地域価値向上に繋がることを期待しています。

* Quality (品質)、Service (サービス)、Cleanliness (清潔さ)

日程・会場

第1回	2025年10月9日（木）中部運輸局	第6回	12月2日（火）九州運輸局
第2回	10月30日（木）関東運輸局	第7回	12月4日（木）中国運輸局
第3回	10月31日（金）北海道運輸局	第8回	12月16日（火）四国運輸局
第4回	11月5日（水）北陸信越運輸局	第9回	12月18日（木）近畿運輸局
第5回	11月27日（木）東北運輸局	第10回	2026年1月29日（木）沖縄総合事務局



和田理事長による挨拶



城福特任研究員による挨拶



説明する湯浅CEO



12月2日九州運輸局の様子



10月30日関東運輸局の様子

本記事で紹介した「手引き」は、運輸総合研究所のWEBページでご覧いただけます。

<https://www.jttri.or.jp/news/2025/20250620003051.html>

